

# 早池峰

令和7年10月10日（金）第22号

## 授業参観・環境整備作業ありがとうございました

10月7日（火）の授業参観並びに家庭教育ゼミナールにはお忙しいところご参加いただき、ありがとうございました。

今年度3回目の授業参観、さらに成長し学習に集中して取り組む子どもたちの様子をご覧いただけかと思えます。また、家庭教育ゼミナールでは4年生以上の児童も参加し、県立生涯学習推進センターの押切志郎先生から情報メディアとの上手な付き合い方について具体的な事例を交えながらわかりやすく教えていただきました。情報化は加速度的に進んでおり、最近では本物と見分けがつかないような生成AI動画もネット上で見かけることもあります。ネット利用の利便性と危険性を同時に理解し、賢く使うことが今後ますます必要になってくると思います。今回の家庭教育ゼミナールの内容をぜひ親子で共有し、必要に応じて話し合う機会をもっていただければと思います。

また、先週土曜日のPTA環境整備作業にもお忙しい中、朝早くからご協力いただき、ありがとうございました。おかげさまで、校舎裏の側溝も各特別教室の窓もとても綺麗になりました。心より感謝申し上げます。



## おじいさん・おばあさん これからも元気でいてね！！

### ～附馬牛町敬老会に子どもたちが参加しました～

10月4日（土）に附馬牛地区センターにおいて、附馬牛町敬老会が開催されました。本校の子どもたちも1年生が学校代表としてダンスを、児童館手話クラブの子どもたちは手話を披露しました。子どもたちはこれまでの練習の成果を発揮し素晴らしい発表をし、会場から大きな拍手をいただきました。休日にもかかわらずご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



## 小規模校・複式学級のよさを大切に

右にあるのは9月17日岩手日報の「声」の欄に掲載された二戸市在住の方の投書です。お読みになり、どのように感じられたでしょうか。少なくとも本校では複式学級で「半分が自分に関係のない授業時間を過ごしている」ということはありません。他の複式学級を有する学校もそれは同じです。

以前にお知らせの通り、本校では今年度の学校経営の重点の1つとして「小規模校・複式のよさを生かす」ことを掲げ、授業や教育活動の改善・充実に取り組んでいます。大規模校・小規模校、また単式学級・複式学級それぞれに長所（得意なこと）と短所（苦手なこと）はあり、本校に限らずどの学校でもそれぞれの長所を最大限に生かしながら教育活動を進めています。

小規模・複式の学校では、人数が少ないからこそ一人一人の活躍の場が保障できますし、異学年の子どもたちが一緒にいるからこそ多くのことを学べます。他にもたくさん長所があります。今後も本校では小規模・複式のよさを大切にしていきたいと思っています。

※裏面にコミュニティ・スクール通信第3号を掲載しています。ぜひご覧ください。

耳疑った複式学級は不幸  
きつたらない偏見だと思  
った。  
る。そして同じく複式学級  
だった近隣小学校は、修  
学旅行も運動会も一掃に楽  
しんだ。

△市議会を傍聴した  
際、一得書簡の議員が述べ  
た言葉に耳を疑った。それ  
は、今更にもっとある児  
童の減少と関連する学校  
の在り方を論議中で「複式  
学級は不幸だ」と断じたこ  
とだ。聞いて、そこでは、  
半分が自分に関係のない授  
業時間を過ごしている」と  
いう根拠も挙げた。私は聞  
き、疑問を持った思いがあ  
る。そして同じく複式学級  
だった近隣小学校は、修  
学旅行も運動会も一掃に楽  
しんだ。

時代は変わったと考える  
議員の言葉がもしもそれ  
が、それでは自分たちが  
複式学級の小学校へ出向い  
て授業などを進められた  
ことがあるだろうか。  
エピソードが思い出し  
る。確か、私は思った。児童  
小分けが自分に関係のない授  
業時間を過ごしている」と  
いう根拠も挙げた。私は聞  
き、疑問を持った思いがあ  
る。そして同じく複式学級  
だった近隣小学校は、修  
学旅行も運動会も一掃に楽  
しんだ。



遠野市では子供達の「生きる力」を育むため、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を目指し、学校運営協議会制度（通称コミュニティ・スクール：CS）を設置しています。令和7年度も早半年が経過しました。今号では、この半年間の取り組みについてご紹介いたします。

### 遠野中学校部会より

7月1日、キャリア教育として「<sup>とちのびと</sup>遠野人から学ぼう」を開催しました。農林畜産、観光、販売、官公庁、特産品開発、福祉の6名の講師から、仕事の内容や魅力、遠野で働くことの生きがいなどをお話いただきました。生徒達も進路選択の参考になった様子でした。9月には職場体験も行われ、冬休み中にはキャリア教育のまとめとして、遠野で活躍する方を招いたグループワークを開催する予定です。



### 遠野小学校部会より

図書ボランティアさんが「全学級へのHappy Reading（読み聞かせ）」や「本の修繕」の活動（年間10回程度）を実施。エリアコーディネーターさんのお声掛けでメンバーが増え、20名程の方々が来校してくださっています。その他、写真の通り「放課後学習ボランティアさん（随時募集中）」にもご支援いただきました。学習発表会の練習や見守り、ミシンボランティア関係の調整も進めています。



### 遠野北小学校部会より

北小部会はこれまでに2回開催しました。4月の第1回では「1年生を迎える会」を、8月の第2回は、各学級の授業を参観していただきました。今年度は、ミシンボランティア・ロードレース見守りボランティアなどを広く周知するために、CSコーディネーターにチラシを作成していただいたり、地域の広報に掲載していただいたりしながら、地域と連携した取組を展開しています。



### 綾織小学校部会より

今年度は、4月21日に第1回、9月10日に第2回綾織小学校部会を実施しました。具体的な地域学校協働活動は、5月に畝作り、植え方の支援等畑作業の手伝い、6月にプール清掃の手伝いを行いました。6月から始まった毎週火曜日の集団登校に合わせ、校門付近での挨拶運動も実施しています。8月には4年生の水生物調査の安全見守りを行いました。



### 附馬牛小学校部会より

今年度は学校地域協働の柱の1つとして地域ボランティア（附小応援隊）の取組を始めました。保護者や地域の皆様の登録数はまだ少ないですが、花いっぱい運動・PTA環境整備作業・期末大掃除での作業ボランティアやチャレンジ徒歩通学の見守りなどに登録者以外の方にも参加していただいています。今後も広く協力を呼び掛けていきたいと思っています。



### エリアコーディネーターより

8月21日、CSの研修会に参加してきました。講演の中で文部科学省の志々田まなみ氏は、CSの目的を「こどもの居場所を増やす事」と説明していました。調査によれば、自己肯定感・チャレンジ精神・今の充実感・将来への希望の4つの項目で、居場所の数が0~6と増えるにつれ、綺麗な右肩上がりのグラフになっており、子供の成長の場は学校だけではなく、地域や家庭との豊かなつながりが必要とのことです。学校で輝ける子もいれば、地域で輝ける子もいる。所属する場所が増えれば増えるほど輝ける可能性も増える。考えてみれば当たり前の事ですね。我々エリアコーディネーターも、学校と地域の豊かなつながりの為に努力せねばと、思いを新たにしました。

